

平成12年度種苗特性分類調査報告書

ケラトスティグマ



平成14年12月

独立行政法人種苗管理センター

目 次

1 . 対象植物の範囲	1
2 . 新規植物特性調査の概要	1
3 . 特性審査基準（案）	
(1)特性審査基準（案）	2
(2)特性審査基準（案）参考図	4
(3)英語翻訳	6
4 . 特性検定のための栽培試験方法	8
5 . 参考文献	8
6 . 既存品種の特性	
(1)調査品種の概要	9
(2)既存品種の特性	9

1．対象植物の範囲

本基準案は、イソマツ科 (Plumbaginaceae) ケラトスティグマ属 (*Ceratostigma* Bunge) を対象とする。本属は8種が存在するとされているが、園芸用として利用されている種には、ルリマツリモドキ (*C. plumbaginoides* Bunge)、ブータンルリマツリ (*C. griffithii* C.B. Clarke)、ウィルモッティアヌム (*C. willmottianum* Stapf) がある。

2．新規植物特性調査の概要

(1) 第1回現地調査

ア 調査年月日

平成12年9月21日～22日

イ 調査者

田中孝一郎 種苗管理センター品種特性審査官

ウ 調査場所

有限会社ハルディン篠原 軽井沢農場
長野県北佐久郡軽井沢町下発地

(2) 第2回現地調査

ア 調査年月日

平成13年11月15日～16日

イ 調査者

細谷宗令 千葉県農業総合研究センター暖地園芸研究所花き研究室長

山村欽一郎 農林水産省生産局種苗課審査官

今内祥雅 種苗管理センター品種特性審査官

ウ 調査場所

松下興産株式会社 緑化事業部 草津事業所
滋賀県草津市野路1丁目2-2

(3) 調査の所見及び問題点

本基準案は、その他の木本性種子植物の重要な形質に基づいたが、次の形質については取り上げなかった。

ア．取り上げなかった形質

幹の形状、品質特性、環境耐性、病害抵抗性及び虫害抵抗性

イ．取り上げなかった理由

幹の形状については品種間差のある形質がないため、品質特性については該当する形質がないため、環境抵抗性については調査方法や評価の基準が明確にできないため、また、病害抵抗性及び虫害抵抗性については、抵抗性の対象が特定できず調査方法や評価の基準が明確にできないため取り上げなかった。

3. 特性審査基準(案)

(1) ケラトスティグマ特性審査基準(案)

注: 備考の数値は目安としての参考値

重要な形質	No.	形 質	定 義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種名	備考
樹 姿	1	樹 姿	開花盛期の植物体の樹姿	観察 図1	立 性 中 間 開張性	1 2 3	ランボキリウス	
	2	樹 高	地際から植物体の最高部までの高さ	測定(cm)	低 中 高	3 5 7		
	3	株 幅	植物体の最大径	測定(cm)	狭 中 広	3 5 7		
枝の形状	4	茎 長	最大茎(主茎又は最長分枝)の長さ	測定(cm)	短 中 長	3 5 7		
	5	茎の太さ	最大茎中間部の太さ	測定(mm)	細 中 太	3 5 7		2 5 8
	6	茎の稜の有無	最大茎中間部の稜(角張り)の有無	観察	無 有	1 9	ランボキリウス	
	7	茎の節ごとの屈曲性	最大茎先端部付近の節ごとの屈曲の有無	観察 図2	無 有	1 9		
	8	茎の緑色程度	最大茎中間部の緑色程度(木化していない陽光面裏側)	観察	淡 中 濃	3 5 7	ブータンルリマツリ ランボキリウス	
	9	茎のアントシアニン着色の有無及び程度	最大茎中間部のアントシアニン着色の有無及び程度(木化していない部分)	観察	無又は微 弱 中 強	1 3 5 7	ランボキリウス	
	10	茎の毛の多少	最大茎中間部の毛の多少(木化していない部分)	観察	少 中 多	3 5 7		
	11	分枝数	最大茎の分枝数	測定(本)	少 中 多	3 5 7		5 10 20
	12	節間長	最大茎中間部の節間長	測定(cm)	短 中 長	3 5 7		1 2 4
葉の形状	13	葉 形	最大茎中間部の葉の形	観察 図3	披針形 長楕円形 楕円形 菱形 卵 形 広倒卵形 倒卵形 倒披針形	1 2 3 4 5 6 7 8	ブータンルリマツリ	
	14	葉 長	最大茎中間部の葉の長さ	測定(cm)	短 中 長	3 5 7		2 5 10
	15	葉 幅	最大茎中間部の葉の幅	測定(cm)	狭 中 広	3 5 7		1 2 4
	16	葉の色	最大茎中間部の葉の表面の色	観察	黄緑 淡緑 緑 濃緑	1 2 3 4	ランボキリウス	

重要な形質	No.	形 質	定 義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種名	備考
葉の形状	17	紅葉期の葉の色	最大茎中間部の葉の紅葉期における表面の色	観察	緑 黄 橙 赤 赤紫 その他	1 2 3 4 5 9	ランボキリウス	
	18	葉の毛の有無及び多少	最大茎中間部の葉の表面の毛の有無及び多少	観察	無 少 中 多	1 3 5 7	ブータンルリマツリ	
	19	葉縁の毛の有無	最大茎中間部の葉の葉縁の毛の有無	観察	無 有	1 9	ブータンルリマツリ	
花の形状	20	花房の着生位置	花茎における花房の着生位置	観察 図4	頂生のみ 頂生と腋生	1 2	ブータンルリマツリ	
	21	腋生花房の数	花茎における腋生花房の数(花房の着生位置が頂生と腋生の場合のみ)	観察	1個以下 2～3個 4個以上	1 2 3	ブータンルリマツリ	
	22	1花房の花数	開花盛期の1花房当たりの花数	測定(個)	少 中 多	3 5 7		5 20 40
	23	花冠の径	花冠の最大径	測定(mm) 図5	小 中 大	3 5 7		10 20 30
	24	花冠裂片の形	花冠裂片の先端の形	観察 図6	型 型 型	1 2 3	ランボキリウス ブータンルリマツリ	
	25	花冠裂片の色	花冠裂片の色	測定 図5	JHSカラーチャート の色票番号による			
	26	花冠のど部の色	花冠のど部の色	測定 図5	JHSカラーチャート の色票番号による			
	27	花冠筒部の長さ	花冠筒部の長さ	測定(mm) 図5	短 中 長	3 5 7		10 20 30
	28	花冠筒部の色	花冠の筒部の色	測定 図5	JHSカラーチャート の色票番号による			
	29	苞の長さ	苞の長さ	測定(mm) 図5	短 中 長	3 5 7		5 15 25
	30	苞の色	苞の中央部の色	観察 図5	黄緑 緑 緑褐 赤紫	1 2 3 4		
	31	葯の位置	花冠のど部に対する葯の位置	観察 図7	下 同程度 上	1 2 3	ランボキリウス	
	32	花の香り	花の香りの有無	観察	無 有	1 9		
早晩性	33	開花の早晩性	開花期の早晩	観察	早 中 晩	3 5 7	ブータンルリマツリ	

(2) 特性審査基準(案)参考図

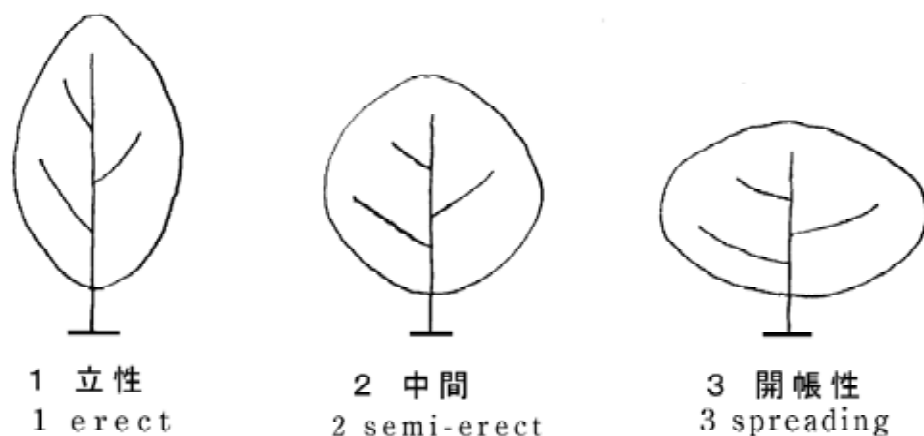


図1 樹姿(形質1)
Fig.1 Plant : type (Char.1)



図2 茎の節ごとの屈曲性(形質7)
Fig.2 Stem : zigzag bend (Char.7)

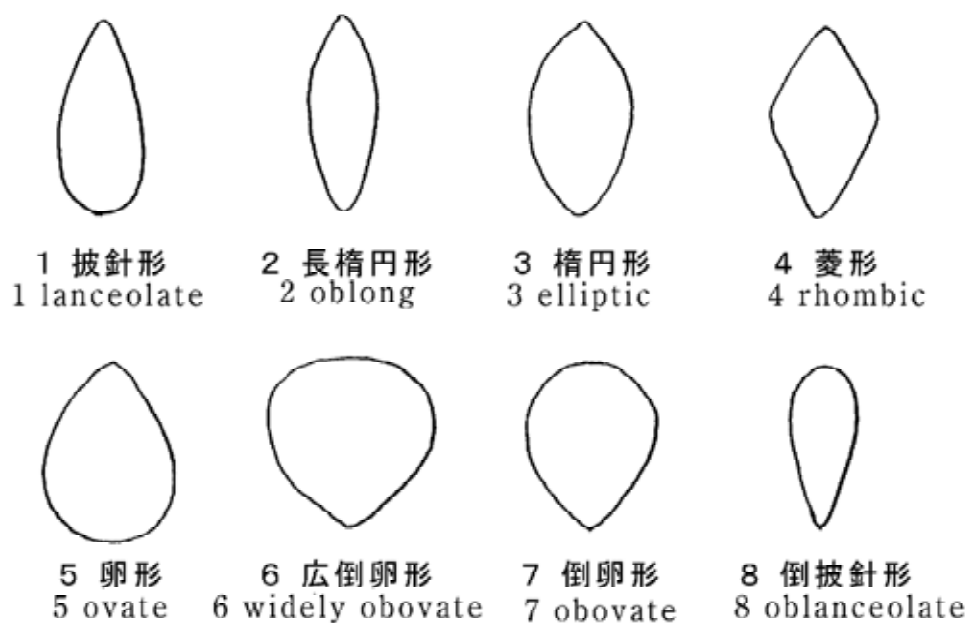


図3 葉形(形質13)
Fig.3 Leaf : shape (Char.13)



1 頂生のみ
1 terminal



2 頂生と腋生
2 terminal and axillary

図4 花房の着生位置 (形質20)
Fig. 4 Flower cluster : position (Char.20)

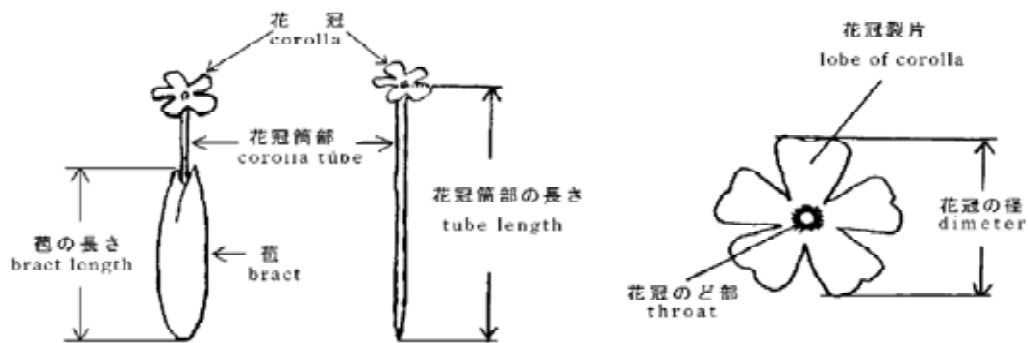


図5 花の各部の名称(形質23,25,26,27,28,29,30)
Fig.5 Flower : name of each part (Char.23,25,26,27,28,29,30)



1 I 型
1 type-I

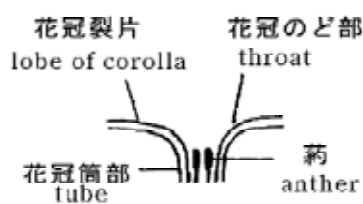


2 II 型
2 type-II



3 III 型
3 type-III

図6 花冠裂片の形 (形質24)
Fig. 6 Corolla : shape of lobe (Char.24)



1 下
1 below



2 同程度
2 even level



3 上
3 above

図7 花冠のど部に対する葯の位置 (形質32)
Fig. 7 Anther : position in relation to throat of corolla (Char.32)

(3) 英語翻訳

Table of Characteristics (*Ceratostigma* spp.)

No.	Characteristics	State	Note	Example varieties	Remarks
1	Plant: type (Fig . 1)	erect semi-erect spreading	1 2 3	Rampokirius	
2	Plant: height	low medium high	3 5 7		
3	Plant: width	narrow medium broad	3 5 7		
4	Stem: length	short medium long	3 5 7		
5	Stem: thickness	thin medium thick	3 5 7		2mm 5mm 8mm
6	Stem: vertical ridges	absent present	1 9	Rampokirius	
7	Stem: zigzag bend (Fig . 2)	absent present	1 9		
8	Stem: color	light green green dark green	3 5 7	<i>C. griffithii</i> Rampokirius	
9	Stem: anthocyanin coloration	absent or very weak weak medium strong	1 3 5 7	Rampokirius	
10	Stem: pubescence	sparse medium dense	3 5 7		
11	Branch: number	few medium many	3 5 7		5 10 20
12	Internode: length	short medium long	3 5 7		1cm 2cm 4cm
13	Leaf: shape (Fig . 3)	lanceolate oblong elliptic rhombic ovate widely obovate obovate oblanceolate	1 2 3 4 5 6 7 8	<i>C. griffithii</i>	
14	Leaf: length	short medium long	3 5 7		2cm 5cm 10cm
15	Leaf: width	narrow medium broad	3 5 7		1cm 2cm 4cm
16	Leaf: color	yellowish green light green green dark green	1 2 3 4	Rampokirius	

No.	Characteristics	State	Note	Example varieties	Remarks
17	Leaf: color of autumnal tints	green yellow orange red red purple others	1 2 3 4 5 9	Rampokirius	
18	Leaf: pubescence	glabrous sparse medium dense	1 3 5 7	<i>C. griffithii</i>	
19	Leaf: pubescence of margin	absent present	1 9	<i>C. griffithii</i>	
20	Flower cluster: position (Fig . 4)	terminal terminal and axillary	1 2	<i>C. griffithii</i>	
21	Flower cluster: number of axillary clusters	less than two two or three more than three	1 2 3	<i>C. griffithii</i>	
22	Flower cluster : number of flowers on one cluster	few medium many	3 5 7		5 20 40
23	Corolla: diameter at top (Fig . 5)	small medium large	3 5 7		10mm 20mm 30mm
24	Corolla: shape of lobe (Fig . 6)	type- type- type-	1 2 3	Rampokirius <i>C. griffithii</i>	
25	Corolla: color of lobe (Fig . 5)	JHS color chart No.			
26	Corolla: color of inside surface of throat (Fig . 5)	JHS color chart No.			
27	Corolla: length of tube (Fig . 5)	short medium long	3 5 7		10mm 20mm 30mm
28	Corolla: color of tube (Fig . 5)	JHS color chart No.			
29	Bract: length (Fig . 5)	short medium long	3 5 7		5mm 15mm 25mm
30	Bract: color (Fig . 5)	yellowish green green greenish brown red purple	1 2 3 4		
31	Anther : position in relation to throat of corolla (Fig . 7)	below even level above	1 2 3	Rampokirius	
32	Flower: fragrance	absent present	1 9		
33	Time of flowering	early medium late	3 5 7	<i>C. griffithii</i>	

4．特性検定のための栽培試験方法

(1) 栽培方法概要

施設内鉢栽培

挿し木 10月上旬、天芽2節を下葉を切除して挿す。

鉢上げ 11月下旬、4節程度で9 cmポットに鉢上げ。

用土は水はけの良い鹿沼土等を使用。

鉢替え 4～5月、植物体の大きさを見て12 cmポットに鉢替え。

摘心 なし。

施肥 液肥等を適宜施用。

温度管理 冬期間は最低温度10℃で管理。

(2) 供試個体数

1区15株(1株/鉢)、2反復

(3) 調査上の留意事項

ケラトスティグマは、1つの花房につき1～数花ずつ順次開花し開花期間がかなり長い。植物体の頂花房の約半数が着花した時期を開花期とし、ほぼ全体が着花した時期を開花盛期として各形質を調査する。時期がたつにつれて茎が木化するので茎の色や毛などに関する形質は木化する前に調査する。

5．参考文献

園芸植物大事典(1994) 1 - 827 小学館

最新園芸大辞典(1975) 1 - 428 誠文堂新光社

花と植物百科(1997) 442 英国王立園芸協会監修 同朋社

Dictionary of Gardening(1997) 1 - 572 The New Royal Horticultural Society

6. 既存品種の特性

(1) 調査品種の概要

ランボキリウス *Ceratostigma willmottianum* の1系統 松下興産(株)で調査
 ブータンルリマツリ *Ceratostigma griffithii* 松下興産(株)で調査

(2) 既存品種の特性

No	形 質	階 級									ランボキリウス		ブータン ルリマツリ	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	樹姿	立性	中間	開張性							3		1	
2	樹高 (cm)			低		中		高			3	19.5	5	47.4
3	株幅 (cm)			狭		中		広			3	25.8	3	32.0
4	茎長 (cm)			短		中		長			3	20.5	7	40.2
5	茎の太さ (mm)			細		中		太			3	2.3	3	1.6
6	茎の稜の有無	無								有	1		1	
7	茎の節ごとの屈曲性	無								有	1		1	
8	茎の緑色程度			淡		中		濃			7		3	
9	茎のアントシアニン着色の有無及び程度	無		弱		中		強			7		3	
10	茎の毛の多少			少		中		多			3		3	
11	分枝数 (本)			少		中		多			5			
12	節間長 (cm)			短		中		長			5	2.0	5	2.5
13	葉形	披針形	長楕円形	楕円形	菱形	卵形	広倒卵形	倒卵形	倒披針形		6		7	
14	葉長 (cm)			短		中		長			5	5.1	5	4.7
15	葉幅 (cm)			狭		中		広			6	2.7	5	2.0
16	葉の色	黄緑	淡緑	緑	濃緑						4	3715	2	3513
17	紅葉期の葉の色	緑	黄	橙	赤	赤紫				その他	5		4	
18	葉の毛の有無及び多少	無		少		中		多			3		5	
19	葉縁の毛の有無	無								有	9		9	

No	形 質	階 級									ランボキリウス		ブータン ルリマツリ	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9				
20	花房の着生位置	頂生のみ	頂生と腋生								2		2	
21	腋生花房の数	1以下	2 3	4以上							2		3	
22	1花房の花数			少		中		多			5	19.0	3	7.0
23	花冠の径 (mm)			小		中		大			5	18.4	4	16.4
24	花冠裂片の形	型	型	型							2		3	
25	花冠裂片の色	JHSカラーチャートの色票番号による									7611明紫青		7611明紫青	
26	花冠のど部の色	JHSカラーチャートの色票番号による									7611明紫青		7611明紫青	
27	花冠筒部の長さ (mm)			短		中		長			5	18.1	3	11.5
28	花冠筒部の色	JHSカラーチャートの色票番号による									9703紫ピンク		9504鮮紫ピンク	
29	苞の長さ (mm)			短		中		長			5	12.7	4	10.0
30	苞の色	黄緑下	緑 同程度	緑褐上	赤紫						1		1	
31	葯の位置										3		3	
32	花の香り	無								有	1		1	
33	開花の早晩性			早		中		晩			5		7	